

豊陵會報

No.93

2012年4月
(平成24年)



母校 創立90周年式典 2011年10月29日

kanko
カンコースクールウェア
カンコースポーツウェア



学生工学
Cooperating For Student Study



(財)全国高等学校体育連盟協賛
インターハイ協賛



(財)日本中学校体育連盟推薦
(財)日本中学校体育連盟シンボルマーク付

制服・体操服製造販売メーカー

尾崎商事株式会社 大阪営業所

〒553-0003

大阪府大阪市福島区福島6-20-12

TEL06(4797)9771 FAX06(4797)9774



尾崎商事株式会社

本社 〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町15番1号 岡山リットシティビル5F

<http://ozaki.jp/>

お客様相談室 0120-712983

ozaki

新会長に永田武全さん

越智・木村・中島3副会長体制に

豊陵会の新会長に高15永田武全(たけはる)さんが評議員会で選任され1月1日付で就任した。永田さんは三井住友銀行副頭取を経て現・京阪神戸デザイン協会会長。

副会長に新たに高15木村榮次さん、高22中島守さんが推薦承認され、留任の高15越智克司副会長とともに3人体制になった。

北 修爾会長と小出副会長は3期6年間の任期の中で「会員名簿2008〜09」の発行、ホームページの充実などIT活用の推進、90周年事業の実施などを果たし、「90年の助っ人」役を務めた加藤芳哉副会長とともに退任した。評議員会は「感謝決議」を行なった。

また北会長を支えた佐瀬一男・菅谷梓両財務幹事、田村会計監事も退任し、新しい財務幹事に高22の赤塚雄一(会計監事から異動)・萩原哲さん、会計監事に高15の滝川勲夫・宗田(そうだ)京子さんが就任した。(P5に新年度役員・幹事・評議員の名前を掲載)

みんなが参加する豊陵会に

副会長の就任にあたって

豊陵会会長 永田 武全

このたび豊陵会の会長に就任いたしました高15期の永田武全でございます。

伝統と歴史を誇る豊陵会の会長に推挙いただきましたことは、大変光栄に感じますとともに、重責に身の引き締まる思いでございます。

私は同窓会の目的・使命を、卒業生同士が交流を深め、親睦をはかる場を設けること、および母校である豊中高校

3副会長のあいさつ

越智 克司(留任)・高15副総会、幹事会、評議員会、総務・IT・会報各部会担当

同期会長の新体制で、引き続きお手伝いすることになりました。財務など厳しい状況下であり新しい企画が必要とされます。まずは会報とホームページの機能を発展させ、会員相互の情報密度を高めたいと考えます。



木村 榮次(高15) 事務局、資料室、ゴルフコンペ担当

ハンドボール、運動会、駅伝などスポーツに明け暮れた高校時代。昭和38年卒業以来50年の節目

のますますの発展のために協力・支援する応援になることを考えております。

そのためには会員の皆さんが豊陵会の活動に関心をもち、活動に参加して頂くことが何よりも重要でございます。そこで私は新執行部のモットーを「開かれた豊陵会」「参加する豊陵会」とし、皆さんに関心を持って頂く企画、皆さんに参加したいという気持ちになって頂く活動を今後展開していきたいと考えております。

豊陵会の益々の発展のために、会員の皆様のご理解とご協力、具体的には総会などの行事へのご出席や、「豊陵会協力金」の振込み等をお願いいたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

の年に副会長を仰せつかったのもひとつの縁と感じています。明るく楽しい事務局、世代を超えて集まれる豊陵会を目指します。微力ながら同期の会長のもと役員の方々と力を合わせて豊陵会の発展に寄与したいと張り切っています。



中島 守(高22) 財務幹事・会計監事、予算、森川基金担当

この度、豊陵会の副会長を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。豊中中学・高校90年の伝統・歴史を受け継ぎ職責を全うする所存ですが、財務担当と致しまして豊陵会協力金の更なるご理解とご支援をお願い申しあげまして就任のご挨拶とさせていただきます。

6年間を振り返って

北 修爾(高13)

図らずも豊陵会会長を拝命し、役員の皆様のサポートよろしきを受け、6年間、携わりました。個人情報保護法の施行後の名簿発行は、勇気が要りました。会則に会員情報の取扱い方針を新規に明示し、名簿発行の基盤を作りました。

ホームページの充実もIT時代の流れに沿ったものです。今後はHPの活用が同窓会活動の中核となるでしょう。

総会に卒業25年目の会員を「ホームカミング25」として迎える活動が定着したのはうれし限りです。同窓の絆が再確認され、同期の集まりがし易くなったことは望外の喜びです。中部支部の立ち上げを手伝ったのもいい思い出です。

創立百周年に向けて、益々の発展を祈る次第です。

退任の御挨拶

小出 君子(高13)

7年間の副会長の任期中で最も印象に残ることは、50年ぶりの新制服のデザインの決定にかかわったことです。世界中どこへでも誇りを持って着て行けるスタイリッシュな濃紺のスーツに、同期の掛谷信穂さんデザインのワッペン等を配して格調高い仕上がりとなったことは何よりの喜びでした。

任期中の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

飯野正子・津田塾大学学長が 記念講演

創立90周年記念式典10月29日母校で開催

旧制・大阪府立豊中中学の創立から90周年。その記念式典が母校の体育館で全校生徒はじめ関係者が参列して開かれた。朝から快晴のこの日、国歌ならびに校歌斉唱に始まり高橋克夫校長の式辞、北修爾・創立90周年記念事業委員会委員長（豊陵会会長）の挨拶に続いて各界代表の祝辞をいただき、来賓紹介、祝電披露、記念品目録贈呈があり式典を終了。



講演される飯野正子・津田塾大学学長

記念講演

引き続いての飯野正子・津田塾大学学長（高14）による記念講演「次の時代を創造する皆さんへ」は、私と豊中高校、そしてその後の人生、恩師との出会い、先輩から学びそれを後輩に伝える、津田塾という女子大学の先駆者に学び、そして教えて来たことを丁寧にかみしめるように話をされた。これは会場を埋めた生徒だけでなく、来賓として来られた各界関係者、近隣中学・高校関係者、教職員、歴代豊陵会会長や卒業生、そしてPTA、豊友会関係者等、満席の一人ひとりの心に染み入るものであった。

次にSSH選択の2年生4人による「音の研究」の記念発表が行われ、最後に生徒代表として自治会長2年生内藤美月さん（現3年生）の喜びの言葉で記念行事を終わった。

「憶念の碑」記念プレートの除幕式

恒久平和を祈念して母校中庭に設置



たり、戦時中、多くの恩師・同窓生の尊い命が数多く失われていくことに鑑み、心より哀悼の意を表するとともに、はるかなる恒久平和を祈念して母校中庭に碑を建てることを決め、平成24年1月30日午前10時よりその除幕式を行った。

犠牲者のご遺族をはじめ、同期生ら、豊陵会からは歴代の元会長、90周年記念事業委員長の北前会長ら役員、そして豊中高校高橋校長他学校関係者が参列した。この後、学校内の別室で遺族をはじめ、当時を知る同期生らから、生々しい惨状を聞き、この碑文の意味を改めて噛みしめた。

第二次世界大戦末期の昭和20年（1945）6月7日、三国航空機材に学徒勤労動員中、引率の宮川馨先生と中学20回生ら9名をはじめ、計15名の学徒が米軍の爆撃機B29による空爆犠牲者となった。

これに先立ち、豊陵会は昨年9月13日に、49年6月に20回卒業生により建立された「憶念の碑」にお参りしたのち、豊中市本町の看景寺で法要を行ない亡くなられた方々に鎮魂の祈りを捧げた。

豊陵会では母校の創立90周年にあ

今年の親睦ゴルフコンペ

10月4日、関西クラシックゴルフ倶楽部で

2012年第11回豊陵会親睦ゴルフコンペの開催内容が決まりました。今年も会員多数の参加をお待ちします。

▼開催日時 平成24年10月4日(木) 8時35分スタート

▼開催場所 関西クラシックゴルフ倶楽部

(電話0794-72-1231)

(〒673-1123兵庫県三木市吉川町湯谷567)

▼スタート方式 清水・湯谷・大洞の3コース1番ホールから同時スタート

▼プレー費 13,600円(キャディ付プレー費、昼食、会食、会食時ソフトドリンク含む)

▼会費 3,000円(賞品代・諸費に充当)

▼組合わせ 今回は同窓会コンペとして各期の交流を深める意味から、各期の参加者をシャッフルして組合せを決めたいと思います。特にご希望がある場合は事前に各期の代表者の方から意向を事務局までご連絡下さい。

昨年

松田郭さん、小出君子さんが優勝 決算11万5千円を寄付



第10回豊陵会親睦ゴルフコンペ 10月6日・花屋敷ゴルフ倶楽部「ひろのコース」で81名(男性68名・女性13名)が参加。男性の優勝は高7松田郭さん、ベスグロは7期の望月靖允さん。女性は高13小出君子さんが優勝とベスグロのダブル受賞となった。

第10回記念大会ということで多方面から多くの賞品寄付があり、参加者には大いに楽しんでいただけた。当日の剰余金11万5千円が豊陵会に寄付された。



今年の豊陵会総会は 5月27日(日)

「ホームカミング25」該当期は高校39期の皆さんです。会場は例年どおり豊中駅前のホテルアイボリーです。今年のゲストは34期卒業橋本エミさんをリーダーとした「なにわブラック・ペッパーズ」。同期の加藤真理子さんもメンバーです。

また当日のイベントの中でも恒例の「寄贈品のオークション・販売等」は大きな楽しみの一つです。会員皆様のご協力をお待ちしております。総会の詳しい内容は24頁の「豊陵会総会のご案内」をご覧ください。

この日も11時開催、「ホームカミング25」に該当の38期生の集まりもよく、出席者は259名。母校の創立90周年を迎えこの日のゲスト、豊中高校高橋克夫校長が「豊中高校がめざすもの」創立百周年に向かってと題し母校の今、そしてこれからをスライド等を駆使して話をされた。(写真)

5月22日ホテルアイボリーで 23年度の豊陵会総会開催

幹事会・評議員会開く

2月24日午後6時30分からホテルアイボリーで、平成24年度第1回幹事会・評議員会が73人出席のもと開かれた。

永田新会長は開会の挨拶の中で「開かれた会にしていくため情報開示を徹底したい」「アイデアを持ち寄り役員全員で行事に取り組むことや事務局の充実」をあげ、会員の協力にも強い協力をお願いする、抱負を語った。

来賓の高橋校長から「進学指導特色校」になった母校の現況などが報告された。

議案では2011年の豊陵会活動、決算、会計監査報告と本年の活動計画案、予算案、90周年記念事業の決算と監査報告が審議され、それぞれ承認された。また新任幹事・評議員が紹介された。

報告事項として総会は5月29日(日)11時からホテルアイボリーで開くこと。アトラクションはナニワブラックペッパーズを招くことに。ゴルフコンペは10月14日に行う。



- 田中靖郎さん(中23回) 11年12月 日本学士院会員に選任される 東大名誉教授 X線天文学の権威
- 宍戸 元さん(高3期) 11年11月 瑞宝双光章を叙勲される 兵庫県警嘱託医関係 解剖医
- 古川興四郎さん(高16期) ダイハツディーゼル社長) 11年6月29日 同社代表取締役会長に就任
- 藤村 修さん(高20期) 11年9月 内閣官房長官就任 広島大学工学部経営工学科卒業後、1993年日本新党から衆議院初当選 教育行政に詳しく外務副大臣、厚生労働副大臣等を歴任、大阪第7区(吹田市、摂津市)選出 当選6回
- 片山 雅文さん(高30期) 11年6月22日産経新聞社取締役大阪編集局長兼大阪代表補佐に就任。

あと各部会から報告があった。各部会ともそれぞれのメンバーの充実を願っている。

▽会報11年一回になったこと

▽資料室112期のメンバーが尽力していること

▽IT資料室のIT化と会報との連携

平成23年度第2回幹事会・評議員会が、11月18日、65人が出席してホテルアイボリーで開かれた。

北会長から創立90周年記念式典と憶念の法要を無事終了したことなどの挨拶があり、高橋校長より母校がレベルアップを目指す活動の現状の説明があった。議題では創立90周年事業、ゴルフコンペ等の報告がされ、24年は5月27日に総会を開催することを決定した。

新役員一覧 (平成24年4月1日現在)

会 長 永田 武全 (高15期)	評議員	大川慎太郎 (高16期)	北村 篤嗣 (高33期)	山田 あや (高51期)	畠永 信太 (高59期)
副 会 長 越智 克司 (高15期)	矢野市之助 (中8回)	迎田 允武 (高16期)	原田 純子 (高33期)	佐藤 健 (高52期)	尾西 沙絵 (高59期)
木村 榮次 (高15期)	薦田 巖男 (中10回)	湊 稔 (高16期)	沖原みゆき (高34期)	齋藤 佑樹 (高52期)	岸田絵里加 (高59期)
中島 守 (高22期)	徳永 順次 (中14回)	千田 智之 (高17期)	門田 佳子 (高34期)	花畑 雄 (高52期)	石野 勇次 (高60期)
財務幹事 赤塚 雄一 (高22期)	越田 泰生 (中16回)	廣野 敏生 (高17期)	中原 洋子 (高34期)	南岡 俊之 (高52期)	喜多 芳裕 (高60期)
萩原 哲 (高22期)	高橋賢太郎 (中17回)	藤田 進 (高17期)	河野 浩明 (高35期)	岡 美帆 (高52期)	祖一 澄人 (高60期)
会計監事 滝川 勲夫 (高15期)	景山 幸彌 (中18回)	宮崎 保之 (高17期)	志水 清紀 (高35期)	上原 拓真 (高53期)	吉田 将平 (高60期)
宗田 京子 (高15期)	松浦 茂 (中19回)	石尾 賢一 (高18期)	田中 元彦 (高35期)	國府 健嗣 (高53期)	石井 友梨 (高60期)
幹 事 齊藤 省三 (高2期)	佐藤 雄直 (中20回)	小林 正明 (高18期)	吉本 正樹 (高35期)	照井 和哉 (高53期)	泉宮華乃子 (高60期)
妹尾 景行 (高3期)	高野 宏樹 (中20回)	古川美重子 (高18期)	岸本 一蔵 (高36期)	兼田 美紀 (高53期)	柏原 成美 (高60期)
辻 彰 (高3期)	豊田 俊一 (中21回)	山口みね子 (高19期)	重定 宏明 (高36期)	寺脇 知里 (高53期)	中島 早苗 (高60期)
松岡 清忠 (高4期)	湯浅 一也 (中21回)	奥田 逸朗 (高20期)	田中 一史 (高36期)	森西 給美 (高53期)	上栗 良介 (高61期)
友国 泰治 (高5期)	飯嵩 宏 (中23回)	田村 雅史 (高20期)	城戸 史子 (高36期)	國平 直樹 (高54期)	新居美奈子 (高61期)
上神英二郎 (高6期)	瀨尻 昌利 (中23回)	中野 隆史 (高20期)	中村 康子 (高36期)	久保 陽介 (高54期)	黒谷 光宏 (高62期)
多河 正和 (高7期)	浅井 由彦 (高2期)	長門 孝次 (高20期)	福中 寛子 (高36期)	雜賀 譲二 (高54期)	姫田 慎也 (高62期)
神保 雅明 (高8期)	政木 武 (高2期)	守口 建治 (高20期)	古川智香子 (高36期)	徳重美紀子 (高54期)	山下 真護 (高62期)
大久保 孝 (高9期)	川島 保春 (高3期)	加堂 裕規 (高21期)	津田 昌一 (高37期)	圓岡 美幸 (高54期)	川西 咲希 (高62期)
堀田 芳男 (高9期)	小野 實 (高4期)	田村 守 (高21期)	南里 吉彦 (高37期)	臼杵 毅 (高55期)	小島 碧 (高62期)
長谷川能民 (高10期)	道之前由志一 (高4期)	福島 裕 (高21期)	南 千恵 (高37期)	恩田 淳史 (高55期)	松本 紗和 (高62期)
内田 昌文 (高11期)	安達 明 (高5期)	豊田 宣子 (高21期)	木南 鼓 (高38期)	横谷 圭祐 (高55期)	田原 大祐 (高63期)
岡本 重伸 (高11期)	前川 巖 (高5期)	吉田 優子 (高21期)	藤田 竜治 (高38期)	高橋 敬子 (高55期)	美野 千尋 (高63期)
有田 進 (高12期)	八幡 弘道 (高6期)	上原 茂 (高22期)	大西 花子 (高38期)	前防由利子 (高55期)	同期会世話役
川上 寛 (高13期)	山埜ゆみ子 (高6期)	徳田 俊 (高22期)	佐藤 琴波 (高38期)	勝部 義幸 (高56期)	石堂 謙汰 (高64期)
笠谷 勝美 (高13期)	岸谷由紀子 (高6期)	平野 二郎 (高22期)	権藤由記子 (高38期)	田中 良 (高56期)	松原 未沙 (高64期)
堀内 肇 (高14期)	石橋 美紀 (高7期)	福原 美典 (高22期)	高畑 秀道 (高38期)	宮澤 佳樹 (高56期)	奥田啓太郎 (高64期)
丸山 幸夫 (高15期)	宮川 正子 (高7期)	三木 茂生 (高22期)	別所 邦彦 (高39期)	梶谷 理紗 (高56期)	星 安理沙 (高64期)
村瀬 一郎 (高15期)	三浦 勝子 (高7期)	林 雅子 (高22期)	重村 桜子 (高39期)	古澤 真希 (高56期)	佐々木剛史 (高64期)
梶山 四郎 (高16期)	成田 研一 (高8期)	桑畑 健二 (高23期)	米田美代子 (高39期)	星野 亜季 (高56期)	石橋 理絵 (高64期)
高坂 敬三 (高16期)	牧 雄彦 (高8期)	中木 常雄 (高23期)	山見 智子 (高39期)	尾崎 優 (高57期)	東 啓慈 (高64期)
須賀 寅充 (高16期)	東 敦子 (高8期)	磯部 慶子 (高24期)	後藤 淳 (高40期)	小松 光一 (高57期)	上原 瑛美 (高64期)
中田 八朗 (高16期)	石田美代子 (高8期)	深井 玲子 (高24期)	齊藤 雅彦 (高40期)	比嘉 雅浩 (高57期)	松原 裕樹 (高64期)
正岡 哲 (高16期)	水谷 忠昭 (高9期)	増田 吉則 (高25期)	徐 廷禹 (高40期)	宇野 優沙 (高57期)	阪口 美里 (高64期)
西澤 信善 (高16期)	仁賀 俊雄 (高10期)	折原 玲子 (高25期)	原田 康一 (高40期)	大西 唯 (高57期)	水田 訓平 (高64期)
松村 宗順 (高17期)	上田三千乃 (高10期)	片山 泰子 (高25期)	岡本 直美 (高40期)	平尾 友美 (高57期)	隅谷 朋代 (高64期)
石川 国義 (高18期)	久保 文子 (高10期)	塩崎 兼市 (高26期)	櫻井さとこ (高40期)	高松雄一郎 (高58期)	上村 文哉 (高64期)
佐野 紀夫 (高18期)	猪谷 正臣 (高11期)	横井 葉子 (高26期)	榎谷 礼子 (高40期)	早野 貴至 (高58期)	成田 志穂 (高64期)
転法輪真理 (高18期)	平井 昭 (高11期)	雨宮 伸 (高27期)	中嶋 ちさ (高41期)	中村 志穂 (高58期)	井口 大夢 (高64期)
岡嶋 豊 (高19期)	植田 元則 (高12期)	勝又 敏夫 (高27期)	山中美由紀 (高42期)	門脇 亮太 (高59期)	山岸 加奈 (高64期)
野原 嗣久 (高19期)	菅谷 梓 (高13期)	神川 定久 (高27期)	尾上 高志 (高43期)		
三井 豊則 (高19期)	岩武 萬子 (高13期)	吉田 伸一 (高27期)	平尾三和子 (高43期)		
渡辺 寿一 (高19期)	小出 君子 (高13期)	長岡佐江子 (高27期)	児玉健太郎 (高44期)		
高田 裕文 (高20期)	浦 功 (高14期)	明里 一孝 (高28期)	高橋 繁生 (高44期)	▽部会長	
矢澤 マリ (高20期)	中野 英機 (高14期)	林 茂樹 (高28期)	北之坊晋次 (高45期)	総務部会長	村瀬 一郎 (高15期)
牧野 隆 (高21期)	中村明比古 (高14期)	松井 豊 (高28期)	坂口 修一 (高45期)	会報部会長	神保 雅明 (高8期)
河田 一裕 (高23期)	森里 信生 (高14期)	笠井 信吾 (高29期)	下村満美子 (高45期)	会報副部会長	妹尾 景行 (高3期)
熊澤 一郎 (高23期)	依田 昌彦 (高14期)	矢野 正仁 (高29期)	三戸 優香 (高46期)	資料室部会長	齊藤 省三 (高2期)
永井 宏明 (高23期)	井上 博子 (高14期)	石垣 美紀 (高29期)	藤井 泰子 (高48期)	資料室副部会長	川上 寛 (高13期)
中野 隆子 (高26期)	足達 統彦 (高15期)	前田 妙子 (高29期)	石黒 陽子 (高49期)	IT 推進部会長	丸山 幸夫 (高15期)
加藤 芳哉 (高29期)	高須 元洋 (高15期)	久井 主税 (高31期)	多賀 朋子 (高49期)	IT 推進副部会長	渡辺 寿一 (高19期)
神戸 裕子 (高29期)	中村 信 (高15期)	山下 典子 (高31期)	赤松佳代子 (高50期)	▽事務局	
永井 裕 (高30期)	仲田 祐司 (高15期)	松本 良枝 (高31期)	山口 真歩 (高50期)	事務局長	中尾 寛次 (高13期)
橋田 浩 (高32期)	渡邊 元 (高15期)	升井 知子 (高31期)	磯部 光男 (高51期)	事務局員	高岡 浩子 (高13期)
亀井 圭子 (高37期)	永野 豊子 (高15期)	門田 浩一 (高32期)	田林 徹也 (高51期)		野村佳乃子 (高19期)
	中出 幸子 (高15期)	北原 千春 (高32期)	畑 雅三 (高51期)		江連 郁子 (高32期)
					菅 祐子 (高32期)

豊陵会 2011年の決算

年々弱る「協力金」 収支上は繰越金出たが…

豊陵会報2011年の決算(下の表)は予算の切り詰めで次期への「繰越金」を残したが、どの角度から見るかによって評価が変わる内容になった。

事務局費をはじめ諸活動予算を大幅に切り詰め、「入るを量って出るを制する」が奏功し、数字上はひと安心である。これには事務局を中心にした各組織の大きな努力があった。会報の年1回発行への変更、東京・中部両支部への助成金削減など、これまで言われながら実現しなかった「大なた」が振るわれたことが大きい。

ここ数年言われ続けてきたことだが、これまで収入の大半を占めてきた「豊陵会協力金」の収入が年々弱り続け500万円台に低迷しており、かつて「目標、年間1000万円。3年に1度でいいから全会員が協力しても

られれば母校にも今以上の協力ができると言われ、あとひと息で1千万円に迫ったときの迫力はない。

一方では、名簿特別会計と同90周年事業の終了にともなう「特別会計」積立が1500万円を超えて「毎年の家計は苦しいが、将来に備えた資本金は増えつつある」という面で豊陵会の財政が拡大・安定してきたとも言える。「資産規模」で見ると3千万円に近づいていることは大きい。

願わくは、会員の皆さんがこの「面倒な数字」をご覧ください、「本来もっと支出しなければならぬ支出が動かなかった」ので、数字上は黒字決算。台所事情をご理解のうえ今後ともよろしく!と言うのが、豊陵会報編集部の「財政解説」である。(G)

収支計算書

自平成23年1月1日 至平成23年12月31日

収入の部	決算	予算	支出の部	決算	予算
前期繰越収支差額	599,414	599,414	豊陵会報発行費	2,892,765	3,500,000
豊陵会協力金(郵貯)	4,060,620	3,910,000	総会開催費	970,374	1,000,000
豊陵会協力金(引落)	159,000	900,000	学校行事支援金	530,000	500,000
豊陵会協力金(銀行)	584,450	50,000	卒業記念品贈呈費	237,510	250,000
豊陵会協力金(現金)	369,500	200,000	豊陵会報部会	118,665	150,000
在校生同窓会費	2,889,224	2,800,000	豊陵資料室	300,000	300,000
寄付金	403,306	450,000	IT推進部会	0	200,000
会報広告収入	467,500	440,000	東京支部補助金	150,000	150,000
総会チケット売上	1,110,000	1,000,000	中部支部補助金	100,000	100,000
総会オプション等売上	478,900	350,000	事務局費	1,037,168	2,090,000
利息収入	20,668	20,000	諸会議費	915,438	700,000
雑収入	26,940	30,000	事務機器使用料	293,004	540,000
			事務用品備品購入代	299,496	100,000
			事務局光熱費	95,505	120,000
			電信電話料	119,960	150,000
			通信費	90,758	120,000
			慶弔費	0	40,000
			協力金引落初期費用	25,035	120,000
			協力金等払込手数料	120,700	130,000
			協力金引落手数料	12,822	40,000
			振込手数料	25,880	30,000
			雑費	18,408	60,000
			運営準備金繰入	1,000,000	300,000
			積立金繰入	1,019,212	0
			次期繰越収支差額	796,822	59,414
計	11,169,522	10,749,414	計	11,169,522	10,749,414

収支計算書

自平成23年12月28日 至平成23年12月31日

収入の部	支出の部
寄付金収入	0
名簿特別会計振替	7,689,218
90周年特別会計振替	7,795,530
受取利息	0
計	15,484,748
記念事業費	0
通信費	0
振込手数料	0
契約書収入印紙	0
雑費	0
収支差額	15,484,748
計	15,484,748

貸借対照表

平成23年12月31日現在

資産の部	負債及び正味財産の部
現金	0
郵便振替 ゆうちょ銀行	0
普通預金 三菱東京UFJ	0
三井住友	15,484,748
計	15,484,748
負債の部	0
未払費用 一般会計	0
小計	0
正味財産の部	0
前期繰越収支差額	0
当期収支差額	15,484,748
小計	15,484,748
計	15,484,748

貸借対照表

平成23年12月31日現在

資産の部	負債及び正味財産の部
現金	61,595
郵便振替 ゆうちょ銀行	12,060
郵便振替 名簿特別口座	1,380
郵便振替 90周年特別口座	4,880
普通預金 三井住友銀行	516,907
普通預金 摂津水都信金	3,000,000
普通預金 関西ア・パ・ン銀行	0
普通預金 関西ア・パ・ン銀行	0
仮払金 豊陵会報部会	0
仮払金 豊陵資料室	0
仮払金 IT推進部会	200,000
仮払金 記念事業特別会計	0
定期預金 関西ア・パ・ン銀行	3,019,212
定期預金 三井住友銀行	9,000,000
合 計	15,816,034
負債の部	0
未払費用	0
前受金	0
小計	0
正味財産の部	0
運営準備金	3,000,000
積立金	12,019,212
前期繰越収支差額	599,414
当期収支差額	197,408
小計	15,816,034
合 計	15,816,034

豊陵会 2012年の予算

重点活動、重点支出を鮮明に

2012年の豊陵会予算が2月24日の評議員会で承認された。豊陵会の予算年度は1月1日～12月末まで。役員任期もこれに合わせているため新執行部の色合いはまだ明確には出ていない。しかし誰が豊陵会の舵取りをしようとも限られた財源の中では思い切った施策を出せず縮小均衡でゆかざるを得ない。

今年も重点活動に重点支出の基本は変わらない。

収入予算は前年度決算よりも減っている。「豊陵会協力金」の収入が強く見込めないからだ。これが豊陵会活動のすべてを左右している。5～6年前では「減った、減った」と言われながらも800万円規模の協力金予算であった。母校が「進学指定特色校」[SSH]などで活躍している大事な時に母校を支援する基礎がぐらついてきた。

永田会長は「みんなが参加しやすくなるような同窓会活動」を通じて「参

加」[協力金の増収]を呼びかけている。この豊陵会報の郵送部数2万1千部、つまり約2万会員の15パーセントの協力金収入があれば年間900万円の収入となって財政面でよほどの健全運営となる。豊高よりも少し先輩校の2011年6月決算では「同窓会費」振込率は14・6%、同予算は4千人の払込み計画である。豊陵会に当てはめるとまさに900万円以上である。

「協力金増収に力点を」という機運が高まってきた。若手会員へ豊陵会への関心を高めること、これまで協力金が多かった高5～13期をピークにした卒業期の高齢化に代わる後進が伸び悩んでいることなど、執行部を中心に会の活性化、増収へのセット取り組みが目前の課題である。2012年度新体制の下で「想定外の好決算」になることを夢見てお互いに協力してゆきたい。

収支予算書

自平成24年1月1日 至平成24年12月31日

豊陵会 一般会計		単位：円	
収入の部	予算	支出の部	予算
前期繰越収支差額	796,822	豊陵会報発行費	3,500,000
豊陵会協力金(郵便局)	4,000,000	総会開催費	1,000,000
豊陵会協力金(引落)	300,000	学校行事支援金	530,000
豊陵会協力金(銀行)	50,000	卒業記念品贈呈費	140,000
豊陵会協力金(現金)	200,000	新入生・卒業生のしおり	102,000
在校生同窓会費	2,800,000	豊陵会報部会	150,000
寄付金(郵便局)	0	豊陵資料室	150,000
寄付金(銀行)	30,000	IT推進部会	100,000
寄付金(現金)	370,000	東京支部補助金	150,000
会報広告収入	560,000	中部支部補助金	100,000
総会チケット売上	1,000,000	事務局費	2,450,000
総会オークション等売上	350,000	諸会議費	700,000
利息収入	30,000	事務機器使用料	280,000
雑収入	20,000	事務用品備品購入代	270,000
		事務局光熱費	100,000
		電信電話料	140,000
		通信費	100,000
		協力金引落初期費用	10,000
		慶弔費	40,000
		協力金等払込手数料	120,000
		協力金引落手数料	11,000
		振込手数料	25,000
		雑費	25,000
		次期繰越収支差額	313,822
計	10,506,822	計	10,506,822

■創立90周年記念事業が終了しました

母校の90周年記念事業協賛の募金活動には多くの皆さまからのご協力をいただき、本当に有難うございました。ここに「記念事業特別会計」の決算報告とともに前号までに掲載できなかった寄付者のお名前を掲載して(8ページ)事業の締めくくりとします。なお特別会計の収支計算書は2月24日の評議員会で承認を得たもので剰余金(「収支差額」)7,795,530円は既存の「豊陵会記念事業特別会計」に移され、同会計の積立金合計15,484,748円は百周年記念事業(詳細計画はこれから)の基本となります。

収支計算書

自平成21年11月1日 至平成23年12月27日

豊陵会 90周年記念事業特別会計		単位：円	
収入の部		支出の部	
寄付金収入	14,905,795	正門廻り改修費	6,667,500
憶念法要寄付金	115,000	ヒマヤキ・メモメント工事	420,000
		ヒマヤキ・プレートサイン料	10,670
豊陵育英会振替	878,118	引渡式典経費	49,140
受取利息	1,025	記念式典記念品	83,738
		記念式典経費	16,050
		憶念法要経費	166,040
		憶念メモメント工事	462,000
		通信費	240
		振込手数料	213,830
		契約書収入印紙	10,000
		雑費	5,200
		収支差額	7,795,530
計	15,899,938	計	15,899,938

貸借対照表

平成23年12月31日現在

豊陵会 90周年記念事業特別会計		単位：円	
資産の部		負債及び正味財産の部	
現金	0	負債の部	
郵便振替	0	未払費用 一般会計	0
普通預金	0	小計	0
三井住友	7,795,530	正味財産の部	
		収支差額	7,795,530
		小計	7,795,530
計	7,795,530	計	7,795,530

高畑 秀道 [高39期] 大山 正治 [高40期] 田中 俊明 [高43期] 中井 修 松浦 義智 山田 裕世 豊田 知司 高根(井上)重紀 廣瀬(松下)千枝 [高40期] 戸林(石山)佳子 [高41期] 中井(伊藤)聖理 西田(奥村)道子 高田 智之 田内(奥村)由紀 中井(藤本)慶子 清水(坪田)純枝 吉本(川崎)真子

中島(土屋)尚子 [高49期] 中岡 健太郎 [高51期] 小林 知博 [高43期] 林(河永)直子 [高52期] 森本(大瀧)美帆 [高53期] 米澤 弘之 [高44期] 児玉 健太郎 [高54期] 田中(稲田)美利子 [高45期] 近藤(小松)裕子 [高45期] 北之坊 晋次 [高46期] 秋山 武稔 [高46期] 下村(佐古)清美子 [高46期] 松井 香久子 [高55期] 須藤 涉一 [高56期] 中田 麻美子 [高56期] 荒川 正太 [高57期] 山田 佳久 [高48期] 中村(藤本)慶太 [高58期] 赤澤 秀之 [高59期] 太田 研

小西 剛一 [高22期] 赤塚 雄一 [高22期] 鈴木 政大 [高26期] 田村 和方 [高28期] 中井 俊二 [高29期] 三井 正昭 [高33期] 盛口 正昭 [高33期] 吉田 邦男 [高39期] 吉田 優子 [高22期] 谷津 正雄 [高13期] 北 修剛 [高15期] 菅谷(ノ男)祥洋 [高15期] 小出 君子 [高15期] 越智 克司 [高17期] 伊東 成秀 [高18期] 南 良之 [高19期] 山内 洋一 [高21期] 梅名 義昭 [高22期] 赤塚 雄一 [高22期] 上原 茂守 [高26期] 塩崎 兼市 [高28期] 明里 一孝 [高29期] 加藤 芳哉 [高33期] 野田 浩司 [高39期] 武田 雄紀

■寄付をいただきました
☆旧職員 河村 繁 1万円
☆高6期 小西淳次 1万円
☆高13期 小出君子 1万円
☆高11期 総会寄付金 5千円
☆高33期 「燦爛会」 10万円
10月9日に開催した高校33期卒業記念パーティの収益からの一部を寄付します。
☆幹事会ドネーション(23年4月8日分) 2万7千円
☆総会反省会ドネーション(23年6月4日分) 2万3千円

自動振替納入制度(かつ・かいしゅう)
昨年度より郵便局での協力金の郵便振替納入制度に加えまして、金融機関の預金口座からの自動振替納入制度(かつ・かいしゅう)を開始いたしました。一度ご登録頂きますと郵便局に向かいいただくお手間も省けますので、是非ともご利用いただけますようお願い申し上げます。昨年度は12月8日に上記の方々より自動振替納入制度(かつ・かいしゅう)による、豊陵会協力金のご入金がございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。なお、領収書は発行しておりませんので、ご了承ください。
新たに自動振替納入制度(かつ・かいしゅう)ご利用をお願いできます方は、豊陵会事務局までお申し付け下さい。(☎06-6849-4973)

■創立90周年記念募金
御協力ありがとうございました
お名前を掲載し、お礼申し上げます
(平成22年10月1日～平成24年2月29日までにいただいた方を掲載いたしました)
平成24年2月29日現在の募金額は、14,920,435円です。

【旧職員】 岡崎 博哉 [中5期] 中原 晃一 [中5期] 堀田 生駒 [中5期] 四之宮(遠藤)也 [中5期] 今安 達也 [中5期] 堀田 節子 [中5期] 樋谷 正史 [中5期] 能智 恵二 [中5期] 弓庭 和子 [中5期] 中村 正敬 [中6期] 田附 弘 [中12期] 吉岡 平太郎 [中13期] 奥田 宏 [中14期] 齋藤 和夫 [中15期] 岩井 正 [中16期] 鳥井 道夫 [中16期] 吉本 晴彦 [中16期] 北之防 敏弘 [中16期] 藤岡 壮太郎 [中17期] 濱野(田中)保 [中17期] 小竹 武治 [中17期] 折田 勇作 [中17期] 高橋 賢太郎 [中17期] 戸尾 英二 [中17期] 新庄(定之)弘行 [中17期] 山本 功一郎 [中18期] 木谷 素夫 [中18期] 藤本(高柳)光博 [中18期] 矢野(藤夫)元伸 [中18期] 船橋 治明 [中19期] 中西 三郎 [中19期] 栗山 賢 [中19期] 栗山 仙之助 [中19期] 藤木 正三 [中19期] 野澤(高橋)亨

高島 義生 [高12期] 牧 雄彦 [高12期] 廣瀬 正彦 [高12期] 高田 正彦 [高12期] 山崎(岡田)秀子 [高12期] 西原 浩 [高12期] 西原 正 [高12期] 岡本(寺田)朋子 [高12期] 櫻井(武田)登子 [高12期] 阿部(内生)多花子 [高12期] 瀬恒 心吉 [高12期] 小西(森下)裕子 [高12期] 水谷(小田)辰夫 [高12期] 野口 晴二 [高12期] 野口 幸夫 [高12期] 野々井(小田)勝子 [高12期] 近中 一行 [高12期] 近中 敦彦 [高12期] 中野(佐藤)辰子 [高12期] 加納 邦郎 [高12期] 河村 時孝 [高12期] 八幡 和道 [高12期] 横島 啓太郎 [高12期] 内野 輝夫 [高12期] 磯水 光一郎 [高12期] 石川 元生 [高12期] 山本(尾崎)昌子 [高12期] 阪形 理一 [高12期] 阪 辰二 [高12期] 日吉(城戸)栄子 [高12期] 片山 真知子 [高12期] 矢野(徳田)辰子 [高12期] 藤本 孝三 [高12期] 藤本(岡田)辰子 [高12期] 久保(岡田)文子 [高12期] 藤本(大谷)典子 [高12期] 藤本 純男 [高12期] 吉田(田中)隆子 [高12期] 谷野 桂子 [高12期] 松尾 隆祐 [高12期] 稲垣(原)千代子 [高12期] 原田 昭雄 [高12期] 鎌本 孝三 [高12期] 君波 進 [高12期] 吉田 悟 [高12期] 岩田 番 [高12期] 福本 眞樹 [高12期] 堀内 邦祐 [高12期] 家門 正成 [高12期] 中野 寛成 [高12期] 田中 剛郎 [高12期] 渡辺 洋三 [高12期] 堀戸(田中)紀子 [高12期] 野田 宏 [高12期] 西台 宏 [高12期] 高岡(西野)教子 [高12期] 賀内 修 [高12期] 賀内(西野)淳子 [高12期] 吉川 英一 [高12期] 中野 康全 [高12期] 松本(小里)和 [高12期] 渡辺 修一郎 [高12期] 前田 恒徳

尾崎 敏雄 [高17期] 武全 寛次 [高17期] 内田 木村 [高17期] 森 栄 [高17期] 仲田 勝彦 [高17期] 保 康博 [高17期] 岡本 隆 [高17期] 佐藤 昂 [高16期] 中田 八朗 [高16期] 吉武 一宏 [高16期] 倉田 秀昭 [高16期] 野村 誠一 [高16期] 山崎(原)連子 [高16期] 野村 廣 [高16期] 正岡 哲宏 [高16期] 山本 弘志 [高16期] 普 善如 [高16期] 伊藤(野田)文江 [高16期] 伊藤(藤)千賀子 [高16期] 宮田(山本)典子 [高16期] 加藤(伊藤)マリ [高16期] 清水(酒井)忠子 [高16期] 久 隆司 [高16期] 山尾 英佐雄 [高16期] 堀原 徳行 [高16期] 笠井 成志 [高16期] 戸部(石)知子 [高16期] 上野(藤本)千佳子 [高16期] 柴田 尚 [高16期] 竹内 純子 [高16期] 堀川 博康 [高16期] 寺林 史朗 [高16期] 千田 智之 [高16期] 森 隆三 [高16期] 渡辺 一樹 [高16期] 出田(岡田)真子 [高16期] 大田 幸三 [高16期] 永田 昌敬 [高16期] 加納(比野)旬子 [高16期] 飯田(河田)淑子 [高16期] 山川 英彦 [高16期] 金 笠 正明 [高16期] 竹中(中野)良子 [高16期] 八尾 克弘 [高16期] 辻 純治 [高16期] 若林 定立 [高16期] 近藤 洋 [高16期] 竹田 良樹 [高16期] 東 隆夫 [高16期] 下 健 昌雄 [高16期] 新井 忠雄 [高16期] 川端(堀)輝子 [高16期] 関沢 愛志 [高16期] 土方 隆志 [高16期] 山内(高岩)悦子 [高16期] 早川 克己 [高16期] 小川(竹崎)みや子

田島 章宏 [高45期] 佐友 理浩 [高45期] 小野 一行 [高46期] 土井(芝)知志 [高47期] 岡本 亮 [高47期] 中岡 典浩 [高47期] 下山 佳久 [高48期] 山本 修平 [高51期] 前田 高志 [高54期] 後藤 智久 [高54期] 福田 誠一郎 [高55期] 谷 善 真紀 [高55期] 伊藤 綾乃 [高56期] 生 生 幹裕 [高57期] 坊中 浩平 [高59期] 峰本(谷田)隆博 [高61期] 千原 拓馬 [高62期] 小寺 広晃 [高62期] 渡邊 裕太 [高62期] 前田 育亮 [高62期] 金城 力 [高62期] 植村 太一 [高62期] 矢原 達也 [高63期] 清水 梓 [高63期] 足立 友紀子 [高63期] 岩川 拓未 [高63期] 渡辺 慶太郎 [高63期] 桐山 明

懐念の要法によせて
☆中20回 桐山輝彦 10万円
☆中20回 佐藤雄治 5千円
☆中20回 志方貞夫 5千円
☆中20回 松浦孝正 5千円
☆中20回 横井昭夫 5千円
☆中21回 高山和也 5千円
☆高6期 小西淳次 5千円
☆高6期 市川(奥田)柳子 1万円
☆高橋夫校長・岡田康彦校長・海田節子事務長 1万円

創立90周年記念式典によせて
☆高6期 小西淳次 1万円
☆高7期 中井梅雄 1万円
☆高7期 望月菊允 1万円
☆高10期 宇野和孝 1万円
☆有志 8千円
懐念の記念碑プレート除幕式によせて
☆中20回 桐山輝彦 30万円
☆高7期 望月菊允 1万円
創立100周年にむけて
☆高33期有志一同 5万円
[豊中高校と豊陵会の益々の発展を祈念しております]



東京支部23年度の総会

116名参加で賑わう

平成23年度
東京支部総会
は6月26日正

午から神田の學士会館で開
催されました。未曾有の災
害をもたらした東日本大震
災から日も浅く、東京では

イベント自粛ムードが漂って
いたこともあり、前年を少
し下回る116名の出席で
したが、この日の學士会館
は豊高カラーに染まる1日
でした。

総会は、柴田麻里常任委
員(47期)の澆刺とした司会
で、支部長挨拶、活動報告、
会計報告、監査報告と続き、
総会議事を終了。このあと
北会長に代わって加藤芳哉
副会長の挨拶、高橋克夫校
長先生の母校現況報告が

あり、前半のセレモニーを
終え、中学20回の西村利武
さんと高48期の白坂一さん
による年齢差50年のジョイ
ント乾杯発声で懇親パーティ
ーが始まりました。

食事と歓談が進む中、賑
やかな音楽に乗ってジャグ
リング・パフォーマーのミ
ス・サリバン(43期市川寛子
さん)が登場、巧みなピン捌
きと高い一輪車では若手書
記の嶋崎敏樹さんを助手に
コミカルな演技で場内を沸
かせました。

来賓スピーチの後半、中
部支部松原支部長の挨拶に
続いて東京支部恒例の「恩師
招待」、多々浩爾先生昭和
41年(平成3年)から当時の
思い出と近況が語られ、マッ



ミス・サリバン
(市川寛子さん・43期)登場

チング&アピール・コーナー
の時間帯には、出席会員の
中から新規起業の紹介や大
震災支援チャリティーコン
サートのお知らせ、ボラン
ティア活動の紹介など、様々
の分野のPRが行なわれ、
総会の締めくくりは中野寛
成さん(11期)の指揮で校歌
斉唱、余韻を残して幕を閉
じました。このあと別室で
の「多々先生をかこむ会」に
担任期を中心に二十数名が
参加して語り合い、東京支
部総会の長い1日が終りま
した。

東京支部長 刀禰俊雄(高3期)



左から刀禰支部長、高橋校長、多々先生、加藤副会長

東京支部総会 6月23日(土) 學士会館で開催

6月23日(土)午後3時30分から神田錦町の學士会館2階ホールで今年の東京支部総会を開催します。着席ビュッフェ方式で、会員によるアピール&マッチングコーナーも開設します。

東京支部恒例の「恩師招待」、今年は平成13年にお招きした音楽科の小島紀子先生を11年ぶりにアンコール招待、オペラパロディ「河内カルメン」のビデオを鑑賞して先生の歌唱も聴かせていただきます。

お誘い合わせて多数ご出席下さいませようご案内申し上げます。東京支部長 刀禰俊雄(高3)

会費	事前振り込み	当日払い
一般	8,000円	8,500円
夫婦(2名分)	15,000円	15,500円
学生	3,000円	
新卒生(64期)	無料招待	

個別のご案内は5月上旬に各期の常任委員から発送しますが、新たに首都圏に転入されたりして届かない方は中室節子・会計担当(高32)までお知らせ下さい。総会の案内状と払込取扱票をお送りします。

snakamurotoyosu@yahoo.co.jp



第4回中部支部総会開催 11月19日名商グリルで

**今年は11月17日(土)
15時開催**
今年の支部総会は11月17日(土)15時から同じ名商グリルにて開催します。いつもは11時スタートでしたが、医師の方など午後、夕刻の開催が出席しやすいとの意見もあり、初めて午後3時からの開催としました。今年も多くの方の出席をいただき懐かしい豊高時代を思い出しながら会員相互の交流を深めていきたいと思っております。

刀禰東京支部長の挨拶に続き、来賓の紹介、決算報告・事業報告等が行われた。その後、大阪から車を運転しパソコン持参で駆けつけたくださった高橋豊中高校長から10月29日に開催された豊高90周年記念行事の内容について報告があった。ヒ

昨年11月19日、名古屋商工会議所名商グリルにて、ご来賓を含めて61名の方のご出席をいただき、第4回豊陵会総会・懇親会が開催されました。例年どおり、我々が誇れる豊高校歌が流れる中、出席者が次々と会場に到着。定刻の11時、総会が始まりました。松原中部支部長挨拶、北豊陵会長挨拶、刀禰東京支部長の挨拶に続き、来賓の紹介、決算報告・事業報告等が行われた。その後、大阪から車を運転しパソコン持参で駆けつけたくださった高橋豊中高校長から10月29日に開催された豊高90周年記念行事の内容について報告があった。ヒ

マラヤ杉の移転、戦争で亡くなられた方々の「憶念の碑」の設置、進学指導特色校となり初めての入試で豊高の入試倍率が高くなったこと、夏休みの勉強合宿の様子、来年度から海外語学研修を予定していることなど豊高の近況報告がパワーポイントを使って行われた。続いて会は、大阪大学名誉教授で日本原子力学会の権威である住田健二先生の「福島原発事故から学ぶこと」と題した講演会。住田先生は豊中高校1期生の大家先輩で同窓会ということもあり率直な話をしてくださった。原子力利用を「原子力村」の人たちだけで進めてきたことの批判を甘受する一方で原子力の将来は評論家だけで決めるのではなく、しっかり技術の分かる人など異なる立場の人

たちが協力して前進させることが重要と締めくくられた。その後、会は懇親会へ。栗岡名誉顧問の乾杯で歓談。和やかな時間となる。この間、テーブルごとの自己紹介、記念撮影、バザーのショッピングなど宴もたけなわに。世代を超えた交流も盛んに行われ、あちこちで中部支部の輪が広がった。



会も盛り上がったところで、いよいよオークション。即売を含めたバザーの売り上げ151,940円は中部支部の活動資金として来年度の予算に計上された。最後に、全員で豊中高校の校歌を高らかに唄い、中村副支部長の閉会・お礼の言葉で会はお開きとなり、各自、松原支部長提供のLED照明付きキーホルダーと栗岡名誉顧問提供の天津甘栗を土産に帰途についた。

新校長に下川清一先生

高橋校長は定年退職

4月1日付で府教職員の人事異動が発表され、高橋克夫校長が定年退職され、第21代校長に下川清一先生(前野崎高校)が就任された。

退任の高橋校長は平成20年就任後、カリキュラムの改定、「進学指導特色校」の指定、「スーパーサイエンスハイスクール」(SSH)指定による校内組織の構築、50年ぶりの新制服の制定などのほか、豊陵会との緊密な連携にも尽力された。

同日発表の教職員異動は次の通り。

新年度 先生方の人事異動

4月1日付教職員の人事異動は次の通りです。
カッコ内は転出入先の校名など。「退再」は定年退職し再任用、「期付」は常勤講師、「非講」は非常勤講師を示す。(敬称略)

■転出等

校長=高橋克夫(退職・東住吉) ▼国語=高田佳代(北千里)、吉村里香(期付・退職) ▼社会=岡田明彦(退職) ▼数学=中村清隆(退再・豊中)、佐渡宏太(期付・退職) ▼理科=氷高草多(大冠) ▼音楽=長谷川景子(桃谷) ▼英語=木村升治(退職) ▼実習助手=伊藤彩姫(泉尾) ▼主査=井ノ本勝巳(北野)。

■転入等

校長=下川清一(野崎・校長) ▼国語=綾城幸則(池田)、田辺麻純(新採用) ▼社会=石田省三(島本)、飛田雅孝(再) ▼数学=中村清隆(再)、岡林裕修(期付) ▼理科=山田麻衣子(新採用)、杉浦郁夫(非講) ▼体育=佐敷慎也(非講) ▼音楽=小西麻衣(非講)、美術=天坊早希(非講) ▼英語=北村浩子(寝屋川)、出野上良子(期付) ▼実習助手=首藤正弘(柴島) ▼主査=辰巳勝則(豊中保健所)。



学校ニュース
のページ

「指定校」2年目の入試結果

昨年からの「進学指導特色校」に指定された文理学科の入学試験(前期試験)の結果が3月1日午後2時に発表され、志願者574人のうち160人が合格した。競争率は3・75倍だった。

普通科(後期)の合格発表は雨のなか3月23日に行われた。志願者330人で合格は200人、倍率1・65倍。



3月1日の合格発表

進路指導部より 平成24年度入試の特徴

今年も、無事センター試験を終え、私立大学や国公立大学入試に向け、豊高生は緊張感を持って頑張ってくれています。さて、入試結果ですが現在(2月15日)のところ、指定校推薦で早稲田、同志社、関西学院など12名が合格し、国公立推薦入試で筑波、神戸、大阪府立、奈良女子で各1名ずつ、その他の公募制推薦で約30名合格しています。特に目を見張るのが、滋賀医科大学医学部医学科に現役で合格者が出たことです。公務員採用試験の合格者も1名出ました。例年と異なるのは、豊高での理系志願者数が121名、文系志願者数が89名で理系が上回ったということです。得点率では90%の生徒が理系で出ました。近畿地方の国公立大学の志願状況は前・後期あわせて、京大3、阪大69、神大72、大市大80、大府大53でほぼ例年並みです。受験生の健闘を祈っています。

64期生317人が卒業

春風の3月5日

高橋校長は豊高での最後となる祝辞で、「苦労」を厭わず自分の栄誉にする気概、「失敗」しても困難と闘う努力、「美しい一生」を目指すことは自分との闘いである」と饒舌の言葉を贈った。豊陵会から



来賓として永田会長・木村副会長が出席。永田新会長が卒業生に豊陵会へ入会歓迎の言葉とともに、64期生全体で継続的な同窓会活動に参画してほしい、と希望を述べた。



■2011年卒業生の進学実績

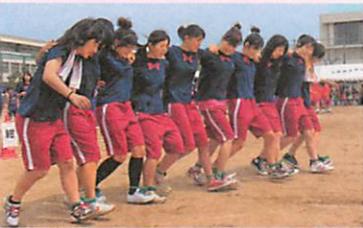
2011年卒業生の大学進学実績を母校進路指導室の資料から掲載します。週刊誌などの「合格者速報」ではなく「実際に入学し通学している」人数です。カッコ内は現役生徒数。

▼国立 京大1(0)、大阪大26(10)、神戸大21(13)、北海道大1(0)、東北大3(0)、筑波大1(1)、千葉大1(0)、福井大1(0)、名古屋大1(0)、滋賀大1(0)、京都工芸繊維大6(3)、大阪教育大14(13)、奈良教育大2(1)、奈良女子大3(1)、和歌山大・岡山大・広島大・島根大・徳島大・宮崎大=各1(0)、琉球大・防衛大学校=各1(1)、高知大2(2)。

▼公立 大阪市立大15(13)、大阪府立大6(3)、首都大東京1(0)、滋賀県立大・京都府立大=各1(1)、神戸市外大3(2)、兵庫県立大2(1)、和歌山県立医大1(0)。

▼私立 関西大27(21)、関西学院大32(28)、同志社大35(22)、立命館大19(12)、早稲田大6(2)、慶応義塾大2(1)、東京理科大1(0)、明治大2(0)、青山学院大1(1)、法政大1(0)、大阪医科大・大阪音楽大・大阪歯科大・大阪工業大・関西外大=各1(1)、成安造形大=1(0)、大阪芸術大・大阪薬科大=2(2)、武庫川女子大=5(4)、近畿大9(6)、甲南大4(3)、摂南大1(0)、同志社女子大6(6)、京都薬科大3(2)、京都女子大・甲南女子大・神戸女学院大・神戸女子大・神戸松蔭女子学院大・神戸薬科大・兵庫医療大・創価大=各1(1)、北里大・大東文化大・東洋大=各1(0)。

▼専修学校 豊中看護専門学校・豊中ダンス&アクターズスクール=各1(1)。



体育祭

来場者が千人以上に
梅雨入りの影響で1日延期し、6月
3日(金)に開催しました。

吹奏楽部の高らかなファンファーレに引き続き、各チームが入場行進を行ない体育大会が始まりました。今年は「紺団」「朱団」「紫団」「橙団」の4つのチームに分かれて、それぞれに工夫を凝らした応援リーダーの衣装とお揃いのTシャツで登場しました。

2年生による「ダンス」と、3年生による「パフォーマンス」は3年目となり、年々パワーアップして、惜しみない拍手が送られました。

中間考査後の一週間ほどの短期間で各団のリーダーを中心に、「立て看板」や「応援合戦」の準備が行われ、豊高生は例年と同様に素晴らしい集中力を発揮しました。

また閉会式では優勝チームだけではなく、全チームの応援団長のスピーチが恒例になっており、それぞれの思いを自分の言葉で語ってくれました。季節はずれの暑さの中、1000名を超える来場者があり、熱く燃えた一日になりました。



文化祭

集客多い、音楽系クラブ 9月10(土)～11日(日)

前年の酷暑に比べ、若干しのぎやすくなったとはいえ、やはり厳しい暑さの中、熱中症対策を実施し2日間開催しました。

豊高文化祭の名物となった3年生の「劇」を中心に、各クラスの企画や文化部の発表で、来校された方々に豊高の文化レベルの高さをアピールできました。

3年生は夏休みから本格的に準備や稽古を始め、下級生に文化祭の取組の模範となっていました。舞台を終えた後の充実感と満足感がそれぞれの表情に出ていました。

文化部の舞台では、部員の多い音楽系のクラブやダンス部が、たくさんの観客を集めていました。また、部員の少ないクラブも、クラスとは一味違う工夫を凝らした発表や展示を行い、日頃の成果を見せていました。

他に、恒例となっているPTAの「憩いのスペース」や、3年目となる豊友会(PTAの同窓会)「バザー市」なども行われました。

入場者数は昨年とほぼ同じで、校内が人であふれる状況でした。



音楽会

2月3日(金)に池田市民文化会館

音楽選択者による音楽会を開催しました。学年別に混声合唱や楽器演奏に加えて、吹奏楽部と音楽部が演奏を行いました。フィナーレとして音楽選択者全員による合同合唱があり、例年に負けない感動を聴衆に与えていました。



造形二科展

2月11日(土)から16日(木)の
6日間

校内の3年生の教室に美術と書道選択者の作品を展示する造形二科展を開催しました。美術では油絵や陶芸作品を、書道では刻字や臨書などが展示され、個性豊かな素晴らしい作品に来校された保護者の方々もたいへん感心されていました。



修学旅行

道央の自然を楽しむ 7月6日～9日

2年生65期生の修学旅行は1学期期末考査終了直後に、北海道道央へ3泊4日の予定で実施しました。

初日は伊丹空港から飛び立ち、新千歳空港到着後、ノーザンホースパークで昼食を取りました。その後、富良野に移動し満開のラベンダーに癒されました。

2日目の午前中は、コースに分かれてのラフティングとファームビジット。天候にも恵まれ、ラフティングでは北海道の大自然を満喫し、ファームビジットでは農業体験の後でメロンやチーズケーキをごちそうになりました。午後から事前に希望したメニュー(旭山動物園・マウンテンバイク・清流魚釣り・生キャラメルとアイス作り)を体験しました。3日目の午前中も希望した体験メニューを楽しんでから、4時間かけて定山渓ビューホテルへ向かいました。最後の夜は全体レクリエーションが開かれ、生徒が趣向を凝らした出し物を次々に演じ歌い、楽しい時間を過ごしました。

最終日は、小樽でクラス写真を撮影後、グループに分かれて小樽の街を自由散策しました。生徒は昼食では小樽の味を堪能し、たくさんのお土産を買っていました。その後新千歳空港に向け出発。夕刻楽しかった北海道を後にし、全員無事に伊丹空港に到着しました。

この間、ホームページには、例年同様に修学旅行ブログが開設され、リアルタイムで報告が掲載され、非常に多くのアクセスがありました。



「できたらいいな」を実現します

Osaka, Tokyo, Shanghai, Chicago

<http://www.haga.co.jp/>

省エネ

環境

ダイキン空調

HAGA メカトロ・テック商社
芳賀電機株式会社



メカトロ

安川ロボット

TEL : 06-6385-3831

代表取締役社長 越智 克司 (高 15 期)

豊高スポーツ 平成23年度の記録



◆野球

▽全国高校選手権大阪大会
(2回戦)東10-9豊中

▽秋季大会
(2回戦)貝塚7-3豊中

◆アメリカンフットボール

▽春季大会
豊中57-0大正
豊中14-13関西大倉
豊中6-3清風
大産大附属28-7豊中
大阪府準優勝

▽関西大会
豊中10-7立命館宇治
海陽学園14-12豊中
関西大会ベスト8

▽秋季大会
関西大倉33-19豊中
桃山学院28-0豊中

◆サッカー

▽全国高校選手権大阪大会
(1回戦)豊中13-0大阪学芸中等
(2回戦)商大高3-1豊中

▽大阪高校新人大会
(1回戦)関大北陽1-0豊中

▽豊中大会
(1回戦)豊中2-0千里青雲
(2回戦)履正社1-0豊中

◆女子ハンドボール

▽新人大会(北ブロック大会)
咲くやこの花27-3豊中
北千里20-3豊中

◆バレーボール

(女子)
▽大阪高校新人大会
信太2-0豊中

近大付属2-1豊中
佐野2-0豊中

▽大阪府新人戦
寝屋川2-0豊中

▽大阪公立高校大会
吹田東2-0豊中
三島2-0豊中

◆バスケットボール

(男子)
▽大阪高校総合体育大会
豊中65-54今宮工科

関西創価96-94豊中

▽さつき杯
四條畷74-52豊中

金岡44-29豊中
豊中40-39三島

豊中54-27箕面東
豊中39-29吹田東

高槻北45-40豊中

▽豊中会長杯

豊中54-43北淀
箕面自由80-39豊中

豊中40-36桜塚
刀根山61-47豊中

▽北地区公立校大会
豊中101-47池田北

茨木70-57豊中
豊中144-25北摂つばさ

吹田東74-54豊中
東淀川75-58豊中

▽大阪高校新人大会
豊中72-63吹田

大阪学院106-51豊中
(女子)

▽高校総体予選
(1回戦)豊中81-32勝山

(2回戦)豊中107-41関大北陽
(3回戦)豊中90-51大阪市立

(4回戦)豊中56-48大体大浪商

▽大阪高校総体
(1回戦)豊中81-49港

(2回戦)豊中71-43泉陽
(3回戦)豊中68-52東

(4回戦)豊島93-43豊中

▽豊中会長杯 準優勝

▽北地区公立校大会
(予選)豊中111-41渋谷

豊中101-54箕面
豊中100-31北野

豊中106-42吹田東
(本選)豊中80-60千里

豊中75-29三島
(決勝)豊島87-48豊中

(1回戦)堺東60-47豊中

▽さつき杯 優勝

▽大阪高校新人大会 北地区予選
(1回戦)豊中75-53大阪学院

(2回戦)豊中59-58山田
(3回戦)豊中93-43金光大阪

(4回戦)薫英女学院128-26豊中
中央大会

(1回戦)豊中59-29泉陽
(2回戦)大塚67-55豊中

◆男子硬式テニス

▽春季赤坂杯
シングルス 本戦3位

▽豊中市民大会 3位

▽大阪高校総体
団体 本戦出場
シングルス 2名本戦出場

▽大阪公立大会
団体 本戦ベスト16
シングルス 本戦出場ベスト32

▽秋季赤坂杯
シングルス 本戦ベスト8

ダブルス 本戦ベスト8

▽第1学区トーナメント
シングルス ベスト8

▽栗田杯(団体戦) 本戦ベスト8

▽学区選抜 シングルス1名出場

◆バドミントン

(男子)

▽豊中市民大会
ダブルス3部 2位

ダブルス4部 1位

▽豊能大会
シングルス上級 2位

▽北摂大会
団体 2位

ダブルス初級 3位
シングルス初級 3位

(女子)

▽豊能大会
ダブルス上級 準優勝

シングルス上級 3位

◆薙刀

▽春季大会兼高校総体予選兼国体1次予選
団体戦 3位

▽大阪高校総体 団体戦 3位

▽近畿大会大阪予選
団体戦 3位 近畿大会出場決定

演技 ベスト8

▽村上杯

演技 2位

個人戦 2位

▽新人大会兼全国選抜大会予選

団体戦 3位

個人戦 2位

全国大会出場決定

◆陸上

▽大阪高校総体

女子1年400m 6位
女子1年砲丸投げ 5位
女子1年200m 準決勝進出
男子2年400m 準決勝進出
男子4×400m 準決勝進出

◆剣道

▽全国高校選手権大阪府予選
近畿高校大会大阪府予選

男子団体 ベスト16

ダブルス 本戦ベスト8

▽大阪高校新人大会
全国高校選抜大会大阪府予選

女子団体 ベスト16

▽正思大会

男子団体 3位

個人 最優秀選手賞

◆卓球

▽大阪高校総体
(1回戦)寝屋川13-0豊中

▽チャレンジカップ
(1回戦)大阪学院2-1豊中

◆文化 部 ◆

◆音楽

▽第43回音楽会出演

◆ダンス
▽全国ダンススタジアム 決勝進出

◆吹奏楽

▽北摂地区大会 金賞

▽大阪府アンサンブルコンテスト
金賞

▽大阪府ソロコンテスト 金賞地区
代表

◆美術工芸

▽大阪府高校美術工芸展 奨励賞

▽大阪府高校芸術文化祭 入選



ダンス部が全国大会へ

剣道部 8月14日(日)、夏盛りの暑い中、大阪府下の公立高校が集う正思大会が、堺市初芝体育館で熱戦が行われました。豊中高校からは初心者も含め、男子3チーム、女子1チームの(1チーム5名)高校団体戦に出場しました。4月に防具をはめ始めたばかりの女子一年生初心者も堂々と強豪相手に果敢に攻めるような試合ぶりをはじめ、同じ仲間の互いのチームが互いの士気を高め合っていました。参加した有段者ばかりの男子Aチームが、予選リーグ勝ち残り、男子32チーム中、見事3位入賞を果たし、大将(当時部長)が優秀選手賞を受賞しました。

(平成23年度「PTAブログ」を賑やかに彩っていた記事より2件ご紹介いたします)



ダンス部 かなりの運動量なのに、芸術性が高いからなのか文化部の扱いとなっているのにまず驚きました。そのメンバーが、今年度、初出場にして日本唯一の選手権大会、ダンススタジアム全国大会に進出したと報じていました。

平成23年8月3日(水)神戸文化ホール、ダンススタジアム西日本予選大会が行われ、全国大会出場の切符を争い46校が参加しました。やりきった演技の後の審査発表、最後の2校の発表となり、あきらめかけたそのとき、なんと豊中高校の名前が呼ばれ、東京での決勝大会進出が決まりました。

決勝大会は、8月24日(水)渋谷C. LEMONホールにて行われました。自ら勝ち得たレベルの高い演技の大会の雰囲気にもまれ、さらに演技の力量をあげる熱意に火をつけられ臨みました。入賞には至りませんでした。仲間と共に精一杯に努力し、築き上げたステージに悔いはなく、むしろ彼女たちの喜びの記録となりました。

豊中高校 創立100周年の夢

あと
10年

成果が定着

中22回 藤上幸作

今から10年先の豊高の進学状況は、難関校とされる有名大学(東大・京大・阪大など)への合格者は目白押しであろうと推測される。最近の大阪府下の教育行政の変革によって重点校10校を選んでテコ入れされた結果、その成果が実を結び定着する時期と思われる。もちろん豊高の受験生ならびに指導される教職員の努力があつてこそ期待されることである。進学成績が高校の世間的評価を決定する世のならい、豊高の関係者にとっては喜ばしい夢ではないか。

韓国や北朝鮮、さらには中国の青年が、素晴らしい頭脳を持ってアメリカの大学教授のもとに続々と集まる。近頃は日本の青年が少ないとか。心配である。現役の政治家が心を痛めているとか。高校の進学成績は単なるお母さん達のうわさ話じゃなく、国家的な問題なのだ!大阪府下の高校の進学成績が日本の将来にかかわる、と言われては高校の教師も漫然とできないね!

(1951~1990年、本校数学科教諭)

バランスよい高校生活

高29期 中西 敬

卒業して早や35年、まだまだ若輩者であると思っていたのが、いつの間にかけっこうな先輩(年齢)となつてしまいました。仕事の関係や大学で(いくつかの大学で講師を務めています)、豊中高校の卒業生に会う機会があります。なかのタイミングで先輩・後輩の関係にあることが分かると、相手との接し方が大きく変わります。もちろん、ほとんどの方が素晴らしい先輩、後輩として学生諸君であり、関係が深まります。豊中高校が母校でよかったと感じる時の一つといえます。そのほかに、出身高校は「豊高ですわ」と少しだけ自慢気に言える時。同期が集まり、カラオケでまず「輝け風と光・・・」とアカペラで歌う時。北原白秋記念館で校歌のレコードが展示してあるのを見つけた時・・・等々、うれしいですね。

人生における基本的な考え方や行動パターンの多くの部分が形づくられる高校生活(このように感じるのは私だけではないと思いますが)、そんな大切な、まさに青春を過ごさせてよかったと思える母校。質実剛健、勉学のみならず部



イラスト:鈴木千裕

活や遊び、いずれに偏ることなく、悩みながらもバランスよく振れる振り子のような高校生活が過ごせる、そんな豊中高校であり続けて欲しいと感じております。

なお、私自身は勉学側に振れることなく、反対側に振れっぱなしの極めて楽しい高校生活を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

(NPO法人 人と自然とまちづくりと副代表理事、徳島大学大学院・近畿大学講師ほか)

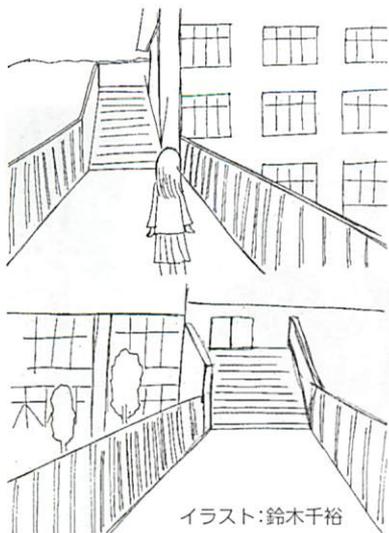
無限の可能性

高37期 亀井圭子

時計の針を戻せるとしたら何時に戻って何をしたいかと聞かれれば、迷わず、豊中高校に入学したときに戻って、もう一度、あの3年間を過ごしたいと答える。(定期試験も大学入試ももうカンベンしてほしいが...)

日当たりのよい教室でのんびりおしゃべり。ちんぷんかんぷんだった物理の授業。4時間目が自習だと食堂にごはんを食べに行ってもよく、大喜びでみんなで食堂に行ったこと。さらに食後のアイスクリーム。文化祭や修学旅行ももちろん大事な思い出だけど、浮かんでくるのは毎日の学校生活の何気ないひとコマだったりする。この先どんな進路でも選べて、時間は余るほどあって。自由に夢を描ける幸せ。あの頃にもう一度戻れたら…

卒業して、大学、会社…と世界も人脈も広がっても、もつとも気の置けないのは、やはり、高校時代15歳からずっとつながってきた友だちだ。利害なものもなく、心を開いて語り合える、大切な友だち。深刻に話し合わなくても、あのころのようにバカ話をするだけで、



イラスト：鈴木千裕

明日もがんばろう！って気持ちになれる。

これまでも、これからも、多感な高校生が悩みながら学び、部活動に打ち込み、友だちと時を忘れて語り合ってきた母校。「教育者の醍醐味は、教え子が大臣にでも宇宙飛行士にでもなれる可能性を持っていることだ。自分の教えたことが無限に広がっていくのが嬉しい。」と、担任の先生がおっしゃっていた。学び舎の姿は変わらなくとも、そこから無限の可能性が広がっていく。

(毎日放送アナウンサー)

素敵な学校に

高校3年生 鈴木千裕

私は豊中高校がとても好きです。歴史ある豊中高校の90周年という節目に立ち会えたことをとても誇らしく思います。

私は豊中高校の良いところは、生徒が素直でとても楽しい高校生活を送れることだと思います。体育大会や文化祭、修学旅行などさまざまなイベントがあるたびにみんながまとまって自分たちで盛り上げていくことができるのは素晴らしいと思います。何かに向かっ

て一所懸命取り組んでいるみんなの笑顔ほど眩しいことはありません。

豊中高校に入学してからの2年間でたくさん思い出ができました。部活に燃え、勉強も頑張り、大切な友達を得ました。

これからの10年で社会は変わり、豊中高校も変わってゆくかもしれません。が、生徒たちが誇りに思える素敵な学校になっていって欲しいと思います。百周年に向けて豊中高校のさらなる発展を期待しています。

世界で活躍する人材を

豊中高校前校長 高橋克夫

豊中高校を誇りに思われています。将来にわたって地元から愛され、信頼される学校であり続けてほしいと願います。

近い将来、豊中市を中心とした地域から生徒が集まる中高一貫校として名乗りを挙げることは、豊中高校がさらに発展していくための選択肢の一つであると考えます。中高六年間で、豊中中学・高校の伝統である質実剛健、協同進取の精神に基づいた文武両道を追及するとともに、日本のリーダーを育成するための教育活動を展開していくことができます。

これから大阪府・大阪市の統合が進む中で、急ピッチで教育制度の改革が行われるでしょう。豊中高校も、変化を先取りし、さらなる改革を進めていかなければなりません。平成二十六年度入学者選抜より、学区制が廃止され、現在の文理学科同様、普通科も府内全域から受験できるようになります。普通科がなくなり、すべて文理学科だけになるかもしれません。豊中中学・高校の歴史を辿れば、地元豊中市とともに歩んできました。豊中市の多くは、

最後に、創立百年の夢を挙げてみました。①生徒の第一志望大学合格率が大阪府立高校No.1 ②中高一貫校の実現 ③海外帰国子女の受入枠ができる ④高校卒業後、海外の大学に入学する生徒が現れる ⑤在校生が国際コンクールに出場・入賞 ⑥近畿大会、全国大会、甲子園等に10以上のクラブが出場 ⑦国際舞台で活躍する新たな人物が10人以上現れる ⑧コンクリート堀がなく外部から運動場・校舎が見える ⑨校舎の建替え ⑩一億円の寄付が集まる。

2008年4月〜2012年3月 校長



動を展開しました。

特に若い警察官や女性警察官を含めてその献身的な活動は多くの被災者の皆さんから高い評価を受け、子どもたちが「大きくなったら警察官になりたい」と言ってくれたことは感動的でした。

私もたびたび現地を訪れ激励するとともに、特に厳しい作業にたずさわった警察官やご家族に手紙を書き、全国の警察が心を一つにできたと言っていました。

被災地の一日も早い復興と被災者の皆様のご健勝を祈っております。

—もう一年が過ぎました。就任間もなくの大災害。国家公安委員長としてのご苦労は大変でした。

本当に大変でした。

国務大臣・国家公安委員長に就任したのが1月14日。その就任早々の3月11日に東日本大震災が発災し、即座に警察庁に警備本部を設置して連日連夜の対策に忙殺されました。連日、全国から5,000名の警察職員と多数のパトカーを動員し、被災地3県(岩手、宮城、福島)の警察8,000名と協力。

被災者の救出、救助、行方不明者の捜索(今も続いています)、ご遺体の検視と身元確認、被災地の通信網の確保、パトロール、交通規制と交通整理、福島第一原子力発電所の事故に伴う対応、避難所の安全と避難者の相談、物資の輸送等、様々な活

歳以上とすることが現実的になりそうです。

内容的には新しい人権(環境権・知る権利・アクセス権・プライバシー権など)をはじめ、現在の衆・参のネジレによる政治の混乱と停滞を受けた「二院制」のあり方、一票の格差、憲法裁判所の設置、大災害や有事の際の国家緊急権のあり方、地方分権などが課題となっています。

憲法9条(戦争放棄)への賛否がとかく注目を集めますが、むしろ歴史的な大転換期を迎え、新しい時代に対応した統治機構のあり方や新しい権利の検討こそ急務であると考えています。

—「成年の年齢を18歳に引き下げる」ことも大きなテーマと聞きます。例えば豊高の卒業式が終わったら目前の大学受験もあるが、選挙権ある年齢として国政に参画するのだぞ!となりますね。後輩にどんなことを期待されますか。

成年の年齢を18歳に引き下げるためには民法や刑法をはじめとして300以上の法令を改正しなければなりません。新しい権利には新しい義務も伴いますので慎重な検討と議論が必要だと思えますね。

国民投票権や公職選挙法にもとづく投票権を先行させることが現実的だと思えます。

ただ世論調査ではまだ大多数が反対のようですが、高校における憲法学習の充実が必要だとも考えます。現役豊高生がどうお考えか、お聞

きたいものです。

—今ほど政治の役割の大事な時はない。なのに政治家は悪口ばかり言われています。国のために政治家を志したいという後輩たちに、先輩としてのアドバイスをお願いします。

国民の生活と国益および世界平和を守るために政治と政治家は重要な使命を担っています。

現在、世界的に激動と金融経済の危機の中で、日本は東日本大震災が加わり、政治の役割は一段と重大なっています。

しかも昨今の日本政治は衆・参のネジレ現象により極めて効率が低下し、閉塞感につつまれ政治不信が極限に達していることは誠に残念です。私も政治家の一人として心苦しい限りです。

しかしこの国難を打開する道は政治しかありません。

どうぞ、豊高生の皆さんは自らの将来を左右する政治や経済に関心をもち、将来を左右する政治や経済に関心をもち、「愛国の志」を持って国政や地方自治に大いに進出されることを期待します。

—そもそも、中野さん自身、豊高時代からどんなきっかけで政治家を目指されたんですか。

私は、満4歳の時、長崎で原爆の被害に遭いました。その時、自らも

被爆しながら治療に専念する医師にあこがれ、避難した父の田舎が無医村であったこともあって当初は医師になろうと思いましたが、学校の

色覚検査で色覚異常があることがわかり、医師になることが当時できなかったので、父に相談したところ、父から「戦争や原爆を無くす政治家になれ。政治家になればこの村にも医者と呼ばれる」と言われたのがきっかけです。

そのため、豊高時代には生徒会活動をやると同時に、声をきかえるため音楽部に、身体をきたえるため柔道部に、話し方を学ぶため放送部で活動し、芸術も書道の選択をしました。

結構、それらが今も役立っています。

—先日の「徳念の記念碑除幕式」に出席していました。幼い頃だったとはいえ、長崎で原爆を体験された中野さんの思いは…。

先の質問にもお答えしましたが、戦争で若い生命が絶たれることは、本人や家族にとっても堪えがたいことですし、社会にとっても大きな損失です。

私たちの「学び」の究極の目的は、多種多様な「友」を、世界に、歴史に、自然界につくり、心を豊かにすることです。

素質に恵まれた豊高生の皆さんに私は未来を託します。そして期待します。

どうぞ同窓の友を大切にし、力を合わせて頑張ってください。



豊陵資料室だより
第20号 2012年4月

「クラブ特別展」を終了

展示されなかったクラブのことども

学 校創立の大正10年7月にいち早く名乗りを上げた本校最古の水泳部。全国大会にもしばしば出場した体操部。着実な活動を続けてきた卓球部は豊高の文武両道の一翼を担っていた。

文化系クラブでも多くの生徒がそれぞれの分野で活躍した。豊中中学時代の「星の会」に起源を持つ地球物理研や、アマチュア無線から始

平 成16年から8年間、資料室が毎年第一期の間、6号館102教室を会場に開催してきたクラブを中心とする「特別展」は幕を閉じることになった。

増学級によりその教室を正規の授業で使うことになり、他に余剰教室を見出せない以上、致し方ないことであるがそれだけに、これまで採りあげていないクラブの関係の方がたには申し訳なく思う。

そこでこれらのクラブを簡単に紹介しておきたい。

- 「特別展」で紹介した部・クラブと企画展
- 第1回(平成16年)=滑空、吹奏楽
アメフット(タッチソフト)
 - 第2回(平成17年)=送球(ハンド)、薙刀、新聞
 - 第3回(平成18年)=野球、陸上、「校歌展」
 - 第4回(平成19年)=剣道、硬式・軟式庭球、
「松岡藤太郎先生展」
 - 第5回(平成20年)=バスケット、漫画イラスト、
「高17松下侃立氏似顔絵展」
 - 第6回(平成21年)=サッカー、バレーボール
 - 第7回(平成22年)=バドミントン、柔道、
重量拳(ウエイトリフティング)
 - 第8回(平成23年)=ソフトボール、放送、愛鳩、
フェンシング、馬術、
「美術部ポスター」

■「豊陵資料室」からのお知らせ

過去10年間「豊陵資料室」は原則として月水木の午後開放していましたが、今後必要に応じて開くことになりました。何かとご不便をおかけすることもありますのでご了承ください。

なおご覧になられる場合は事前に豊陵会事務局(電話・FAX 06-6849-4973)までご連絡くだされば、特別の場合を除いてご要望に添えようと考えております。

まった電気物理研。生物研も「虫の会」以来の伝統を持ち、歴史研、社会科学研、古美術研などとともに文化祭で学研部門の評価を高めた。

ある時期には演劇部やESS、軽音楽、落語研などが花形としての活躍もあった。ESSは「英語の豊高」の名にふさわしく対外的にも評価は高かった。

書道、茶道などは今も文化祭の側面を飾っている。地味ながら縁の下で豊高を支える図書部も貴重な存在である。

最後に新興のダンス部が早くも昨年全国大会に出場したことを紹介してこの稿を描く。

- 資料室への寄付
- ▼中16匿名氏
 - ▼中23上田雄一郎
 - ▼高2浅井由彦、高室光博、菊池洋二、芝池博司、青池会
 - ▼高5友國泰治
 - ▼高9中村好子

鋼材の電子商取引
営業マンの顔の見えるサイト
hanwa-steel.com

< 商社 > 東証・大証一部上場

阪和興業株式会社 FOOTWORK, TEAMWORK, NETWORK を活かして

HANWA CO., LTD.

同期会クラブだより



■フォーラム豊高8期が納会

1999年に発足したフォーラムは、多くの同期生がそれぞれの経験と見識を踏まえて時宜を得たテーマで発表する場であった。中でも多くの同期生と恩師の出席を得て2003年に京都国際会議場で開いた特別例会は記憶に残る。その後メンバーの環境も変わったので、2011年5月の第32回をもって納会とした。
(発起人を代表して) 山口 義



■2011バドミントン部OBOG会

昨年8月末にOB会が行われました。70名近くでの交流ができ、30期代のOGも新たに参加いただけるなど縦の繋がりを深めることができました。

12月に行われた豊中市の団体戦に男子2、女子1チームが出て、男子は1部優勝、3部3位の快挙を成し遂げました。

これからもOBOG現役の交流を通じて縦の繋がりを大切に、そして「久しぶりにバドミントンがしたい」というOBOGのかたは気軽に連絡をください。
(社会科山本卓也)



■豊陵クラブ(新聞部OB会) 11月6日ホテルアイボリー

総会は正午定刻から開催、はじめにこの間に亡くなった会員を追悼して黙とうを捧げました。

中学23回上田雄一郎さんの発声で乾杯の後、会食、懇談。母校豊中高校創立90周年記念式典の様子が90周年記念誌の発刊、最近のニュース、話題報告、近況報告と続き、校歌斉唱で幕を閉じました。

(高12・山下五十六)



■第15回豊三会(高3)総会 11月11日ヒルトン大阪

46名が出席して開かれました。2年前の開催以降で19名の物故者があり、あまりの多さに驚くばかりです。次回は2年後で、第16回をもって最後になるかもしれません。なお次回幹事長は浅野洋君です。(川島保春)



■高5期同窓会「喜寿の集い」 11月11日・神戸生田神社会館

64名が出席。神前で健康祈願の御祓いを受けて後パーティに移り、永年医療に携わってこられた井町恒雄さんからこれからの余命を如何に愉しく過ごすかのアドバイスを受けた。

40～50年ぶりに再会した人もいたので和会席を食しながら全員自己紹介を行った。神戸牛のステーキは大好評であった。二次会に移り同窓でもある加藤隆久宮司から即興詩の披露があった。福引に続きカラオケに移り延五時間大いに盛り上がり、お互いの健康を願い合せて散会した。

(前川 巖)

■高24期・関東地区同期会のお知らせ

開催日時=平成24年9月29日(土) 16時より

▼場所 新宿三井クラブ

▼関東地区の方には7月に案内状送付いたします。同期の方にお声かけの上、ご参加ください。

▼幹事=皆川、新田(長谷川)、玉井(倉賀野)。

▼連絡先=玉井 電話・FAX 042(422)1725 /

e-mail:rose-gadenkt1120@ezweb.ne.jp

■高29「卒業35周年大同窓会」の予告

日時=2012年11月3日(文化の日)12:30～14:30 /

2次会15:00～17:00

▼会場=ANAクラウンプラザホテル

▼5月下旬にご案内。住所変更などは早めに豊陵会事務局にご連絡ください。

▼出欠の案内は9月頃発送の予定。(幹事=神戸裕子)

同期会クラブだより



■野球部OB会総会 4月30日アイボリーで

久しく休会していた野球部OB会総会が開かれた。当日は山下達雄大先輩(中23)から高校53期までのOB、OG計40人が出席。OB会長・岡本重伸(高11)の挨拶で会は始まった。かつて阪急ブレーブスの球団運営に携わっておられた山下先輩の昔話に始まり、副会長・明里一孝(高28)が硬式から軟式野球部への変更を食い止めたエピソードを披露。かつてしごかれた積年の恨み?はさておき、尊敬、畏怖の念もどこかに置き忘れた?かのように、和気あいあいと会は盛況のうちに散会した。今後も総会を開会してOB間の親睦を深め、後輩たちのバックアップに惜しみなく力を貸す。OBはマスターズ甲子園大阪府予選を勝ち抜く。同じ豊高グラウンドの土をなめた者同士、目指すは聖地・甲子園。思いはひとつだ。(敬称略)

(野球部OB会幹事長・高33古野公喜)

■豊高剣道部

新卒業生へ「面手拭寄贈」について会員の皆様へお願い

豊剣会(剣道部OB・OG会)では、一昨年豊高剣道部の近畿大会出場を記念して「揃いの胴」を寄贈したところですが、このたび、新規卒業生が豊剣会会員となることを歓迎し、会員としての意識を持ってもらいたいとの気持ちから、今後、卒業年次生の部員に「面手拭」(写真)を贈ることになりました。デザインは、豊剣会会員で中学9回・故榎原武雄氏の揮毫になる「質実剛健」の書を使わせていただき、紫地に白抜き仕上げとしました。「新規卒業生がこの精神を受け継ぐ人物たれ」との期待を込めたつもりです。この主旨をお汲み取り頂き、前回に引き続き会員の皆様の協力金をお願いいたします(面手拭の協力金は1,000円以上でお願いいたします)。

昨年3月25日に豊高剣道場で実施したOB・OGと現役部員との「第18回豊剣杯争奪大会」において、第64期生の剣道部員全員に面手拭を贈呈いたしました。

豊剣杯争奪大会(及びその後の総会・懇親会実施という形)は、本年1月19日に逝去された豊剣会第二代会長の西村淳一先輩を中心に平成7年から始まったもので、以後中断することなく今回継続できたのも、OB・OG会員と顧問の先生方・剣道部員たちとの協同の賜物と考えております。

(豊剣会会長・高16 大芝信雄)



■「京大豊陵会」スタート

1月27日に高28上山信一慶應義塾大学教授が京都大学未来フォーラムに講演で来学された折に豊高OBで上山氏を囲む会をもちました(写真)。青山秀明教授(高24・理学研究科物理学・宇宙物理専攻)、柴田一成教授(高25・理学研究科宇宙物理学専攻)をはじめとする京大教員のOBも5名参加し、これを機会に豊高との高大連携に協力する目的で、豊高OBで京大教員の連絡会「京大豊陵会」を組織しました。一昨年・昨年は個別に生徒のオープンキャンパス訪問・PTAの大学見学会にそれぞれ対応しましたが、今後はSSHおよびGLHSに関連した連携や現役学生との交流も含め、可能な範囲で対応したいと思っております。(高26・農業研究科・村上 章)

■「高八会」2012年総会

今年4月16日(月)午後6時から千里阪急ホテルで 2年に1回の総会です。斎藤良二先生をはじめ同期生94名が出席の予定です。同日の午後3時から25名が母校を訪問し、現在の豊高、豊陵会館、豊陵資料室、同期の新宮晋君のモニュメント「風と光」などを訪ねる企画をしています。翌日には「万博記念公園」「箕面大滝散策」「ゴルフ(茨木高原カンツリー倶楽部)」「麻雀大会」などに集います。

今年から「後期高齢者?」に突入します。今後の総会はディナーからランチへの転換?を心がけていきたいと思っています。(村下(原田)克利)



■高33「燦燦会」、卒業30周年の総会 10月9日アイボリー

卒業470人のうち、200人を超える卒業生が出席。吉田、清水、西堀、山本(敬称略)の4人の恩師の先生方も出席。すっかり体型が丸くなった元アスリート、白髪頭の昔のイケメン、高校時代と全く変わらぬ女バスのお姉様…。昔話に花が咲き、ハンド部・井角君作成のスライドショーや、在学当時の制服、新装なった現在の制服を33期生が纏った「制服ショー」などで、記念パーティーは2時間以上にわたって盛り上がった。

33期同窓会を「燦燦会」としようという提案が承認された。「33期」にちなみ、まもなく50歳の節目を迎える仲間たちが「これから先の人生も、太陽の光が燦々と降り注ぐように、輝いて行こう」という思いがこめられている。5年後、10年後にも「燦燦会」の同窓会を開こうと決まったが、昨秋以降、大阪・東京で頻りにプチ同窓会が開かれている。「燦燦会」の仲間の結束の固さがさらに深まっていることは間違いない。(古野公喜)

豊陵山歩



「豊陵山歩」は豊陵会レクレーション活動から発展した「山歩き」の会です。

▼これからの予定 5月5日(土)六甲▽6月2日(土)鎌ヶ岳▽7月7日(土)金剛山▽8月25～27日 未定▽9月1日(土)箕ノ裏岳▽10月6・7日大山▽11月4日(日)三輪山▽12月1日(土)三岳▽平成25年1月6日(日)生駒山～十三峠▽2月2日(土)高森山▽3月2日(土)竜門岳▽4月7日(日)住塚山。

日程・行き先を変更することがあります。豊陵会のホームページをご覧ください。集合は8、10月を除いて、原則阪急豊中駅前8時。運営費一回200円。問い合わせ=大久保、中村(9期)芳野(12期)廣瀬(17期)まで。

去年の記録 6月4日(土)兜・鋳岳=急な登りの山道。距離は短い汗がふきでる山行だった。くだりも注意しながらきつい坂を下りた。下から見ると鑑のような山塊と兜の形の山。

夏山は月山、お花畑の豊富なきれいな山でした。9月の男体山は大雨で、10月に延期、東京から川島格さん(11期)と大原貞雄さん(17期)と紅葉を楽しみました。(大久保)

会員の本

■エッセイ集「海外 その街と人々」(高8山中 宏著、NHK学園、11年8月刊) 銀行マンから大学教授に。海外各地に駐在時の感想、その後の人との結びつきを描いたエッセイ。

■「設計力こそが品質を決める=デンソー品質を支えるもう一つの力」(高22 寺倉 修著、日刊工業新聞社、2200円、11年7月刊) 「設計力」とは何か、それを製品に結びつける「設計者」の技量について体験をもとに、そのポイントを伝える。

ぜひ参加しませんか!

豊陵会の各活動部会は「一度手伝ってみようか!」と手を挙げてくださる部会員を募集中です。お好きな部会に名乗り出してみませんか?

■「豊陵会報」部会 年1回の発行になりましたが取材・制作活動は年間ずっと続いています。

- ・パソコン・メールができる方は自宅との送受信で「自宅参加」も可能。
- ・母校内の事務局でワイガヤの編集作業は年齢を問わず、参加の楽しさ十分です。

■豊陵資料室 開設10年を迎えました。新しい資料の計画的収集。3,000点を超える資料の整備、「展示室」の整頓・清掃、来館者の案内…。地味ながらも大事な役目を果たします。

■IT部会 豊陵会報の事務システムの充実、ホームページの管理運営。ITに興味のある会員大歓迎です。

▼ご照会は豊陵会報事務局まで。月水金10時～15時にご連絡ください。

電話・FAX 06-6849-4973

メール office@houryou.org



高21F組・京都南禅寺畔の「八千代」で還暦宿泊クラス会

懐かしい24名が出席。担任の引野秀夫先生、北海道、関東甲信越、台湾からの遠来組12名を含めての24名。午後4時半からの宴会はあっという間に9時を回り、16名が宿泊。楽しい語らいが深夜まで続いた。F組は豊高文化祭史上初のクラス参加で修学旅行紙「東北路」を発表。今回復刻版「東北路」にて全員の近況報告を掲載し配布した。(加堂裕規)

「田んぼのアトリエ」(風の彫刻展) 盛況に終了

高8の彫刻家 新宮 晋さんが企画した「田んぼのアトリエ(風の彫刻展)」が、昨年6月11日から9月25日の期間、三田で開催されました。テレビや新聞でたびたび紹介されましたので、行かれた方も多かったと思います。

フィナーレは、秋の田んぼのなか、風の妖精達のパレードやジャズコンサートも催され、参加者は稲刈りに参加したり、作品やかかしを鑑賞したり、楽しい秋の一日を過ごしました。期間中会場を賑わした50本の「元気のぼり」は、宮城県美術館へ送られ、東北の空で元気に泳いでくれるそうです。自然との共生を感じさせられたイベントでした。(高16相馬康宏)



まごころ葬儀を創造する。



KOEKISHA

- 監査役<社外> 森野 實彦 (高10期)
- 専務執行役員 中島 守 (高22期)

もしもの時は、いつでもお電話ください。

公益社 ご葬儀相談センター

0120-567-701

ご葬儀・資料請求など24時間・365日受付。通話料無料、携帯電話OK。



公益社 千里会館 公益社 豊中会館

※2012年2月現在
※記載の内容は予告なく変更する場合があります。 1969

「豊陵会報」の誌面を刷新しました 雑誌スタイルで全面カラー化

豊陵会報は本号から、ご覧のとおり体裁・内容ともに大きく変身しました。

本号へのご感想ご意見をたくさんお寄せください。試行錯誤を続けながらより良い内容を目指してゆきます。

■「豊陵会協力金」に引き続きご協力を

年1回発行になって会員の皆さんとの「対面」が少なくなった分、協力金の収入が減少することを私どもは心配しています。

「豊陵会報」には45年間以上にわたり、年2回の発行を通じて会員の皆さまと対面し、印刷・発行の財源、ひいては豊陵会運営財源にも寄与してきた歴史があります。協力金に対して発行回数の変更に関係なくご理解とご支援とをお願いします。協力いただいた会員氏名は従来通り掲載してお礼に代えます。

なお直接の振込送金のほかに「年間3千円の自動引落し制度」(「かつ・かいしゅう」)があります。豊陵会事務局にお問合せください。

■ニュースや原稿は編集部専用メールアドレスに

豊陵会報編集部 kaihou@houryou.org

会報編集部あての原稿・写真、照会などは編集部専用のメールアドレスにお送りください。担当者は常駐でないで連絡・返事が遅くなることがあります。

郵送・ファクスによる投稿ももちろん大歓迎です。

▼同期会・クラス会・クラブOB会のニュース＝本号20ページを参考にしてください。写真つき・字数は原則として250字まで。卒業期・開催日・会場・投稿者氏名が必要です。

▼「ひと」欄の情報＝会員の叙勲・慶弔など、身近な情報をお知らせください。

■編集部の新メンバー

担当副会長＝高15越智克司。委員＝高8神保雅明(部会長)、高3妹尾景行(副部会長)、高9大久保孝、高9南野陽子、高29蛸名美佳、高37南里吉彦、高15丸山幸夫(IT部会長)、高13中尾寛次(事務局長)

▼編集メンバー募集中! 楽しく作る豊陵会報。ご連絡ください。

■「会員名簿」勧誘で事務局からのお知らせ

豊陵会の皆さまから「卒業生名簿を作るので住所などの返信回答を」「予約申し込みを」といった郵便が来ている、との照会があります。当豊陵会とは何の関係もありませんのでお知らせします。豊陵会は「会員名簿」の発行作業を外部に依頼することはありません。

編集後記

2人の新メンバーが加わり編集部も新装開店で第93号ができました。とくに感謝したいのは「時間がないので!」と締切りを急ぐ私たちに関係の皆さんが協力くださって、例年の4月20日発行に間にあったことです▼本号は新装開店の第1号。会員各位のご意見・提案をもとに「新しい革袋に新しい酒」をいっぱい詰め込みたい、と願っています。(G)

編集発行 豊陵会報編集部 大阪府立豊中高等学校・豊陵会事務局内
発行人 永田 武全
〒560-0011 豊中市上野西2丁目5番12号
☎(06) 6849-4973 (FAX.兼用)
ホームページ <http://www.houryou.org>
メールアドレス office@houryou.org または kaihou@houryou.org
印刷 株式会社 廣濟堂

会員数 (2012年3月1日現在)	会報発行部数
総数 30,394人 高校 27,878人	発行部数 23,000部
中学 1,839人 旧職員 482人	会員発送数 21,300部
併中 118人 現職員 77人	学校配布 1,100部

■本号から題字が変わりました

秀島保雄さんの書です

豊陵会報の誌面刷新を機会に題字も変わりました。書家で昭和45年(1970)から平成3年まで母校で書道を担当された秀島保雄(号・踏波)さんをお願いしました。これまでの題字と同じ作者です。

作者の言葉 伝統校の同窓会にふさわしい重厚さの中にも凛としたものを表現しようと努めました。かつての生徒のみなさんが立派な社会人として活躍されており、私も大変嬉しく思っております。豊陵会の益々のご発展を祈っています。

●創立90年記念誌●

見て懐かしく、読んで90年を改めて知る!
昨年秋の創立90周年に刊行されました。

・百周年につながる最新の資料を丁寧に満載。

創立90周年記念誌 1,000円

・絵葉書は90年前の校舎写真、今の学校風景など
10枚セット 500円

お申込み照会は豊陵会事務局まで

電話・FAX 06-6849-4973

メール office@houryou.org

オールカラー A4版96ページ
絵葉書とセットで1,500円
販売中

大阪ガス指定工事会社
大阪ガス住宅設備機器特約店

ライフラインを支える組織、アメニティを創造する
中井エンジニアリング株式会社

中井梅雄 (高7期)

信頼と技術

 **望月建設株式会社**

〒530-0015

本社 大阪市北区中崎西2丁目3番12号

TEL 06 (6375) 2345 (代表)

代表取締役会長 望月靖允 (高7期)



今年のゲストに なにわブラック・ペッパーズを迎えて

2010年12月Gospel Christmas Concert(第32回なにわブラック・ペッパーズ公演)より

2012年 豊中中学・豊中高校

豊陵会総会のご案内

「ホームカミング25」 会費 3000円
卒業25年優待(高校39期生)
新卒招待(高校64期生) 会費 無料

日時 平成24年5月27日(日) 11時開会(受付10時15分~)

会場 ホテル アイボリー 3階オーキッドホール
(阪急豊中駅前・電話06-6849-1111)

会費 6,000円

●同ホテルでの二次会の企画(会費2,000円)については、事務局にご相談ください。
皆様お誘い合わせの上、ご出席をお待ちしております。

ゴスペル・クワイア・ディレクター橋本 エミ

豊中高校34期卒業、関西大学社会学部でミュージック・セラピーを研究。米国ボストンの音楽
大学でボーカル・パフォーマンス、ゴスペル、作編曲を学ぶ。米国の多くのクワイアと交流し、
本場のゴスペルを日本に紹介。1994年に自らのクワイアを結成し、ゴスペルコンテストにてグラ
ンプリ受賞多数。

なにわブラック・ペッパーズ

1994年11月結成。アフロ・アメリカンスタイルのクワイア(聖歌隊)としては日本で草分け的グ
ループの一つ。年2回の定期公演の他、各地イベントに出演。第4回定期公演で「大阪市舞台
芸術奨励賞」を受賞、98.8大阪ブルーノート「ゴスペル・コンペティション」でグランプリなど
受賞多数。来日ゴスペル・シンガーとの共演も多い。毎年、ニューヨークやシカゴの教会と交
流し、肌で感じた感動を伝えようと、活動を続けている。(高39期加藤真理子さんはここに所属、
出演されます)

「豊陵会総会」の寄贈品提供のお願い ご出席いただいた会員にとって会場でのオーク
ション・販売等は大きな楽しみです。つきましては、会員皆様には是非とも一品でも多く寄贈
品提供にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

寄贈品は総会当日朝まで受付させて頂きますが、準備の都合上出来るだけ5月23日(水)
までに事務局必着をお願いいたします。

東京支部総会は 6月23日(土) 學士会館で
中部支部総会は 11月17日(土) 名商グリルで

●2012年総会に出席される方は、この用紙で下記事項
を明記の上、できるだけ「ファクス」または「メール」で
お返事ください。※「出席はがき」は、作っていません。

送信先FAX番号 **06-6849-4973**

・呼び出し音が聞こえたらスタートボタンを押してください。

メールアドレス **office@houryou.org**

2012年 豊陵会総会に 出席します

(↓該当箇所に✓を入れてください)

- 中 学()回生
 高 校()期生
 併 中
 旧職員
 現職員

会員コード番号

氏名 (旧姓)

メールアドレス

(出席の申込みは5月9日(水)までをお願いします)



街並みや環境との調和を図りつつ、
さらに安全で快適な事業用空間の提供を目指しています。

京阪神ビルディング株式会社

〒541-0048 大阪市中央区瓦町四丁目2番14号

TEL:06-6202-7331

取締役会長 永田 武全 (高校15期)